

Embassy of the Republic of Poland in Tokyo

駐日ポーランド共和国大使館

住所

〒153-0062東京都目黒区三田2-13-5



主な設置科目・研究分野	行政、自然科学、人文・社会科学、芸術・文化、言語・文学、ビジネス・マネジメント、法律、コンピューターサイエンス・IT、メディア・コミュニケーション、教育、医学・健康、工学、観光・ホテルマネジメント
取得可能な資格・学位	学士、修士、博士
入学資格	入学資格は各大学の決定によるため、希望する大学のウェブサイト上で確認する必要があります。通常の場合、入学願書に記入し、高等学校（または短期大学／大学）の成績証明書と英語能力証明書（通常はTOEFLの成績）の謄本を同封する必要があります。一部の大学では、ウェブサイトに記載されている推薦状や志望動機書、その他の書類が必要となります。美術学校や一部の体育学部などでは、適性検査も実施されます。
取得可能な資格・学位	<p>学士 (BA, Licencjat) 3年～3年半の単科大学での職業教育／専門職課程を修了すると授与されます。</p> <p>学士 (BSc, Inżynier) 3年半～4年の単科大学での技術科学、農業学、経済学の課程を修了すると授与されます。</p> <p>修士 (MA, MSc, Magister) 該当する学位：文学修士、工学修士、建築工学修士、有資格医師・歯科医師または獣医師の資格。5年～6年の長期一貫大学課程を修了すると授与されます。MScはまた、単科大学の免状保持者を対象とした2年～2年半の補足的な修士課程を修了することで取得することも可能です。</p> <p>博士 (PhD, Doktor) 博士試験と論文審査に合格した者に学位が授与されます。博士号を取得するには、修士または同等の学位を保持している必要があります。</p>
授業料	<p>専門研究、修士課程および大学院修士課程は年間2,000ユーロ。</p> <p>博士課程、大学院・専門職課程、科学・芸術インターンシップ、専門職インターンシップおよび資格取得インターンシップは年間3,000ユーロ。</p> <p>職業訓練コース、実習は年間3,000ユーロ。</p> <p>ポーランド留学のための準備コースなどの語学コースは年間2,000ユーロ。</p> <p>正当な理由が認められる場合には、高等教育機関の学長は、学生の要望に応じて授業料を軽減または免除することができます。</p>
使用言語	ポーランド語、英語
大学・機関紹介	<p>ポーランドの高等教育制度には、著名な専門家を育ててきた650年の歴史があります。それはポーランドのみならず世界の多くの国々の利益となり、ポーランド人は世界にプロフェッショナリズムと革新の精神をもたらしました。教育水準が高い一方、生活費が比較的低いポーランドは、EU域内で勉強したいと考えている日本人学生の留学先として最適な国です。</p> <p>2007～2008学年度以降、ポーランドの高等教育制度は、学士 (Licencjat, Inżynier)、修士 (Magister)、博士 (Doktor) の3段階に分けられています。まだ2段階制度 (修士・博士) を採用している法律学、薬学、心理学、獣医学、医学、歯学を除き、この制度はすべての分野に適用されています。</p> <p>ポーランドは、その他29カ国と共に欧州高等教育圏の創設を目指すポローニャ宣言に署名しています。ポーランドの高等教育機関では、欧州単位互換制度 (ECTS) を実施しています。また、各々の大学の活動や「ソクラテス」、「エラスムス」といったプログラムに基づき、学生の国際交流にも取り組んでいます。ディプロマ・サブプリメントにより、修了した教育や取得した資格を国際的に認定できるようになっています。</p>

問い合わせ先



Ms. Malgorzata Szmidi



malgorzata.szmidi@msz.gov.pl



03 5794 7030



www.tokio.msz.gov.pl

http://polandscholarships.appspot.com